vol.7

『経営の健康診断』

気になっていることから、経営全体を見渡す90分

各回1社限定 完全個別診断

売上、人材、価格、新規事業―
経営の「気になること」を、そのままにしていませんか？

・売上が思うように伸びない。・人が採れない、育たない。
・価格を見直したいが、判断に迷っている。・新しい商品や事業を始めたい。
・今の事業を、このまま続けてよいのか少し気になる。

経営をしていると、一つの問題を考えているつもりでも、実は商品、顧客、人材、組織、収益など、いくつもの要素がつながっていることがあります。

「経営の健康診断」は、いま気になっていることを入口に、専門家との対話を通して経営全体を見渡す90分の完全個別診断です。

一つの問題だけを見るのではなく、会社全体とのつながりから、いまの経営で気になるポイントと、これから優先して考えたいことを一緒に確認します。



竹添 晃(たけぞえ あきら)氏
中小企業診断士 / デザイン経営パートナー



池田 雅史(いけだ まさふみ)氏
中小企業診断士 / デザイン経営パートナー



2026.

11/27【金】

① 10:00-11:30
② 13:00-14:30
③ 14:30-16:00

会 場 大阪デザインセンター内

定 員 各回1社(全3社)

経営改善診断費用 11,000円(税込)/1回あたり

本経営改善診断会は、単なるヒアリングではなく、課題を整理し意思決定に使える形まで落とし込みます。

お問合せ先： 一般財団法人大阪デザインセンター TEL：06-6265-2260 E-mail：odc@osakadc.jp

申込・詳細は裏面をご覧ください >>>

本診断会は「経営の棚卸し」の場です。

複雑に絡み合った課題を、経営改善診断のプロが
対話で解きほぐし、意思決定の拠り所となる
レポートをお渡しします。

これは「ヒアリング」ではありません

課題を構造化し、意思決定に使える形まで
落とし込むプロセスです。

【下記内容に1つでも当てはまる方は、是非お申し込みください】

「決断」の根拠が欲しい



生成AIでアイデアは出したが、自社の強みや「企業価値」に照らして、今、何を優先すべきか決めきれない。

新制度への備えを始めたい



「事業性融資推進法」の施行を見据え、自社のノウハウや顧客基盤を「評価される資産」として一度整理しておきたい。

収益改善の糸口を見つけたい



コスト高や人手不足による売上低迷に直面するが、できるコストカットは全て実施してきた。得意先の理解を得た価格の引き上げや製品、サービスの高付加価値化等の「攻めの経営」への転換を探っている。

資金改善・計画の見直しを急いでいる



ゼロゼロ融資の返済や金利上昇局面を迎え、現在の事業計画が実態に合っているか、プロの視点で客観的にチェックしたい。

「思考の停滞」を解消したい



課題が多すぎて何から手をつけるべきか分からず、社内議論も空転気味。経営の棚卸しを行い、迷いなく動ける状態にしたい。

【得られるもの(成果物)】

経営判断に使える
経営改善診断レポート



- ☑ 現状の課題構造の整理
- ☑ 優先すべき課題の明確化
- ☑ 次に取り組むべき方向性

●日時
11/27【金】
① 10:00-11:30
② 13:00-14:30
③ 14:30-16:00

●会場
大阪デザインセンター内

●定員
各回1社(全3社)

経営改善診断費用 11,000円(税込)/1回あたり

本経営改善診断会は、単なるヒアリングではなく、課題を整理し意思決定に使える形まで落とし込みます。

詳細・お申込

定員になり次第受付終了となります。お早めにお申し込みください。
フォームに必要事項を入力し、お申し込みください

お問合せ先：一般財団法人大阪デザインセンター　TEL：06-6265-2260　E-mail：odc@osakadc.jp